

家庭科授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
家庭科	家庭総合	3	2	1～10

1 学習目標

学習の到達目標	生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		
使用教科書・副読本等	教科書：東京書籍「家庭総合～自立・共生・創造～」	学習形態	クラスごとに展開

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	学習項目	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查 範囲
1 学期	4	自分らしい人生をつくる	・男女で家庭科を学習する意義・シラバスの活用・評価 ①生涯発達の視点 ②青年期の課題 ③目標を持って生きる ④人生をつくる ⑤家族・家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会	1、5		○
	5	食生活をつくる	①食生活について考える ②食事と栄養・食品 ③食生活の安全と衛生 調理実習1回目（和食）	1、2、5		○
	6		④生涯の健康を見通した食事計画 ⑤調理の基礎 調理実習2回目（中華）	1、5		○
	7	住生活をつくる	①住生活について考える ②住生活の計画と選択 ③住生活の文化 ④これからの住生活	1、5		○
	8					
	評価					
2 学期	9	衣生活をつくる	①被服の役割を考える ②被服を入手する ③被服を管理する ④被服を作る（被服製作）	1、2、5		○
	10		④被服を作る（被服製作）⑤衣生活の文化と知恵 ⑥これからの衣生活	1、2、3 4、5		○
	11	子どもと共に育つ	①命を育む ②子どもの育つ力を知る ③親として共に育つ ④被服を作る（被服製作） ④子どもとの触れ合いから学ぶ ⑤これからの保育環境	1、5		○
	12	高齢社会を生きる	①高齢社会を理解する ②高齢者の心身の特徴 ③高齢者を支える ④これからの高齢社会 調理実習3回目（洋食）	1、5		○
	評価					
3 学期	1	経済生活を営む	①職業生活を設計する ②計画的に使う ③国民経済・国際経済と家庭の経済生活 調理実習4回目（郷土料理）	1、3、4		○
	2		④消費行動と意思決定 ⑤現代の消費社会 ⑥消費者の権利と責任	1、2、5		○
	3		⑦これからの消費生活と環境	1、2、5		○
【年間の評価】						
.						

学習アドバイス

--